

2025年（令和7年）

11月号

No.241

広報

よしか

大井谷棚田オーナーが稲刈りをおこないました！

9月14日（日）に大井谷の棚田において、棚田オーナーの稲刈りが開催されました！

遠方から吉賀町に宿泊して参加されたり、親子三代でご参加いただいたオーナーさんもいらっしゃいました。

また、9月9日（火）にも柿木小学校の5年生が稲刈りを実施いたしました！

稲刈り後に食生活改善推進員さんからひんやりと美味しいデザートの違い入れもいただき楽しい1日となりました。

美味しい棚田米、届くのが楽しみです。



よしかオータムセミナー2025を開催しました

9月13日に「よしかオータムセミナー2025」を開催しました。

よしか病院をはじめ全国の医療現場で起こっている働き手不足問題を切り口として、様々な業種・職場に共通する課題である、人が集まる職場づくり・地域づくりについて学び語り合いました。医療・行政関係者のほか、地域の様々な立場・業種から、約80名の参加があり、活発な意見交換が行われました。



前半は、グロービス経営大学院教員・林恭子氏を講師としてお迎えし、「人が集まる病院、人が集まる職場」をテーマに講演いただきました。

講演の中で、将来にわたって組織が良い形で続いていくためには、「組織内外の環境変化を受け入れ対応していくこと」、「職員のワークエンゲージメントを高めるとともに、職員自身も仕事を楽しくするために工夫していくこと」、「組織自体が常に変化し多様性を受け入れていくこと」等の取り組みの重要性について、具体的な事例も交えた解説がありました。

講演を受けた後、グループワークを行い、講演で学んだこと・気づいたことについて意見交換を行いました。参加者からは「普段、職場で何となく大事だと思っていたことが、講演を聴いて改めて自分の中で具体化できた」「伝統は革新の連続であるという話を聴き、つい前例踏襲してしまうなど多様な視点が足りないと思った。自分自身を見つめる良い機会になった」等の声が聞かれました。

後半は、益田保健所長・梶浦靖二氏の進行により、「幸せな職場づくり、わくわくの地域づくり」と題したワークショップが行われました。

参加者は業種ごとのグループに分かれ、コウヤマキや水源祭りの藁蛇など吉賀町の名物・名所をモチーフにした新聞紙アート制作等のグループワークを行い、チームづくりについて大切なことや、参加者一人ひとりが考える「幸せな職場・地域」について意見交換を行いました。

参加者からは「新聞紙アートで吉賀町にちなんだ様々な作品が並んだ様子を見て、私たち一人ひとりが役割を持ちながら、町を作り上げていくもののだと思った」等の声が聞かれました。



<幸せな職場とは？>



<藁蛇>



<森英恵さんの服を再現！>

セミナー終了後は、会場を高津川てらすに移し、吉賀町の地域と医療をつなぐ会による「高津川を丸ごと食べる会」が開催され、参加者一同、職種や立場を越え懇親を深めました。今後も、地域・病院・行政が一体となり、地域医療の現状について学習するとともに、交流を深めることができる取り組みを進めて参ります。

「森英恵フラワーガーデン」に秋の花を植えました

9月下旬、商工会・観光協会・産業課で「森英恵フラワーガーデン」に季節の花を植えました。

今年は、世界的デザイナー・森英恵さん生誕100周年の節目の年であり、島根県芸術文化センター「グラントワ」では没後初となる大規模な展覧会も開催されています。これにより、生誕地である吉賀町への注目も高まり、訪れる方が増えることが見込まれています。

10月上旬には、森英恵さんの孫でモデルの森星（もり ひかり）さんも来町され、フラワーガーデンを訪問されました。町にとっても大変うれしい出来事となりました。



「有機の学校 i n 吉賀町」を開催しました

9月4日（木）今年度3回目の「有機の学校 i n 吉賀町」を開催しました。心配された猛暑も幾分やわらぎ、今回から新しく参加された人もあり、にぎやかな学びの場となりました。



福川地区の実証圃場では、これまでの夏野菜の高温対策の結果検証と秋作に向けた準備について学習しました。ニンジンの作付けでは、土壌分析の結果に基づいて肥料を決めることの重要性や、品種選びにおいて、低温期にしっかり肥大するものを選ぶとよいことなどを学びました。

木部谷の実証圃場では、夏に植えたネギの土寄せの方法を実習しました。土のかぶせの厚さが重要であることや、色を見て追肥の判断を行うこと、また追肥しすぎると病気が発生しやすくなるため注意が必要であることについて指導がありました。



その後の座学では、ボカシ肥料の作り方についても学び、米ぬかを多く使うとリン酸が増えることや、窒素成分の多いボカシが望ましいことなどを確認しました。さらに太陽熱消毒による抑草に必要な温度管理や、獣害対策について意見交換を行い、参加者同士の交流も深まりました。

今回は、今年度の高温対策を振り返り、次年度に向けた生産対策を学習する予定です。

100歳高齢者に対してお祝い状及び記念品が伝達されました

9月15日の老人の日の記念行事として、今年度中に100歳を迎えられる「大正14年4月1日から大正15年3月31日」生まれの7名の方に対し、内閣総理大臣からのお祝い状と記念品を岩本町長がご本人またはご家族へ伝達しました。

河上 秀子（広石）	菊地 アヤ（柿木）	齋藤 ツネ子（柿木）
島田 瀧代（六日市）	廣中 トメ子（広石）	三浦 一子（白谷）
山本 智里（田野原）	（50音順、敬称略）	



また、9月1日現在の100歳以上の高齢者数は吉賀町では23名（男性3名、女性20名）となっています。 ※島根県全体1,083名（男性130名、女性953名）

森の環 木育ワークショップを開催！

【広島広域都市圏魅力発信】

地域おこし協力隊制度を活用した林業従事者育成事業を委託している株式会社森の環が木育ワークショップを開催しました。児童13名が参加し、丸太切りからメダル作り、木製マグネットを制作しました。

従業員（森師）のサポートを受けながら、悪戦苦闘しながらも全員が丸太を切ることができ、それぞれ個性的なメダルを制作しました。参加者からは「木（ヒノキ）のいい匂いがする」「丸太切りが大変だった」「きれいに切れた」など木にふれあう体験をしました。

当日は、今年3月に連携協約を締結した広島広域都市圏の事業の一貫で RCC 中国放送「元就。二百万一心！」番組の取材が入りました。放送は10月25日（広島県他放送エリアのみ放映）で11月初旬に番組ホームページ、YouTube でご覧になれます。



吉賀町商工会柿木支所が移転しました

10月1日（水）、吉賀町役場柿木庁舎において「吉賀町商工会柿木支所」の開所式が行われました。

式には関係者が出席し、新しい拠点での門出を祝いました。これまで同支所は柿木郵便局近くにある支所会館を利用していましたが、建設から約50年が経過し、老朽化や耐震面での課題があったことから、役場柿木庁舎裏手の別棟へと移転しました。

今後もこれまでと同様に、職員2名が地域の事業者の皆さまの経営相談や各種手続きに対応いたします。どうぞお気軽にお立ち寄りください。





岩本さん 日本一に輝く



「第93回全日本学生テニス選手権大会」（三重県四日市市）男子シングルスで岩本晋之介さん（関西大学4年）が優勝し、悲願の日本一に輝きました。（広報10月号で既報）

岩本さんは「普段の練習から人一倍考えながら、目的意識を持って取り組んできました。テニスを始めてから初めて日本一になれたので率直に嬉しいです。」と喜びを語ってくれました。今後も全国規模の大会への出場が決まっているそうです。

来年からは社会人として働きながらテニス进行するそう、岩本さんの今後の更なる活躍を期待しています。

吉賀町からは初の日本一で、合併前を含めると、昭和52年の中山トミさん（全国女子100M）、平成11年の山本清香さん（高校総体女子砲丸投）に続き3人目の快挙です。（町史参照）

国際バレエ大会3位入賞



柿木中学校2年 田村芹さんが「第9回九州国際ダンスコンペティション」のバレエシューズ部門で3位に入賞しました。

これに併せてペンシルベニア・バレエ・アカデミー（アメリカ）のスカラシップを獲得し、7月に短期留学（サマーインテンシブ）に参加しました。

田村さんは母親の勧めで小学校1年生から津和野町の「バレットベネッセレ」でバレエを始めました。

アメリカでの短期留学については、「留学生が多く、表現方法について学ぶことができました。これからはヨーロッパのバレエも学んでみたいです。」と話してくれました。

今後もプロバレリーナを目指しレッスンに励むそうで、田村さんの更なる活躍を期待しています。

<写真左が田村さん>

国民スポーツ大会（滋賀） 男女とも入賞の快挙

第79回国民スポーツ大会（滋賀）テニス競技が9月29～10月2日に大津市で開催されました。吉賀町から成年女子にS2加藤那菜さん（吉賀高卒、園田学園大1）と、成年男子にS1岩本晋之介さん（六日市中卒、関西大4）が出場しました。テニス競技は2名の代表が先ずシングルスを行い1対1になった場合はその2名でダブルスを行い勝敗を決します。

初日、成年男子は石川県と対戦しました。石川県は北信越ブロック大会1位の強敵。岩本さんの第1シングルスはインカレ決勝戦の相手で1回戦から緊張しましたが大学日本一の貫禄で勝利、大会注目の1回戦をシングルス2つで突破しました。翌2回戦は対静岡県。シングルス2つで勝利し、2年連続のベスト8に入りました。

一方、加藤さんの女子は1回戦不戦勝、2回戦は昨年準優勝の大阪府と対戦。第1シングルの細木選手が勝ち、第2シングルの加藤さんは成年として初の国体に挑みました。相手は同級生の中でも全国優勝経験者で強敵でしたが、ひるむことなく攻めて勝利し、島根県成年女子として初のベスト8に入りました。翌日、準々決勝は、男女ともプロ選手起用した第1シード地元滋賀県。岩本さんの相手は世界200位のトッププロでしたが、インカレチャンピオンは堂々と勝負し、負けはしましたが大観衆の中い試合をしました。

女子は加藤さんのシングルスを落としましたがファイルのダブルスになり、健闘しましたが敗退、男女とも5－8位決定戦に回りました。男子は福岡県、女子は山梨県に勝利し、5－6位決定戦に回りました。そして最終日、5位決定戦は男子は宮崎県との対戦。女子は兵庫県と対戦。選手、監督、県庁職員多数、応援サポートが一体になり、最後の試合を戦い、女子は加藤さんの第2シングルスも格上の選手に勝利し、島根県成年テニスで初の5位に入賞しました。男子は第1シングルの岩本さんは勝利したもののファイルのダブルスで敗退し6位で終了しました。



今回の国民スポーツ大会は島根県成年男女とも入賞するという快挙と、天皇杯（男女総合）7位に初入賞という快挙を島根県にもたらししました。吉賀町から出場した二人は島根県に大きな貢献をし大会を終えました。

【食育コーナー】 私達の健康は私たちの手で

こんにちは、食改です。

9月30日（火）キヌヤ七日市店、サンマート六日市店でまちの食育ステーションと題して皆さんが買い物に訪れるお店にお邪魔し啓発活動を行いました。

今回の啓発活動では、1日に摂取してほしい野菜の量350g、簡単野菜レシピの展示をして野菜の摂取を呼びかけました。またベジチェックという緑黄色野菜をとっている量が簡単に分かる機械を設置し、皆さんの日ごろの野菜の摂取量を「見える化」し食生活改善のきっかけにしていただけるよう取り組みを行いました。

来場された方からは、「このレシピなら簡単に作れそうだね」、「やっぱりとれてないなあ。」、「思ってたより野菜がとれていてよかった」など様々な感想をいただきました。

食育ステーションの様子です



白菜とちくわとマイタケの煮物

エネルギー46kcal 塩分0.7g

＜1人分の材料＞

- ・白菜100g（大1枚）
- ・ちくわ10g（1／2本）
- ・舞茸 25g（1／4袋）
- ・酒 6g（小さじ1）
- ・しょう油 3g（小さじ1／2）
- ・かつお節 2g（1袋）

＜作り方＞

- ① 白菜は2cm角のざく切り、ちくわは薄い輪切り、舞茸は食べやすい大きさにほぐす
- ② 鍋に白菜、酒を入れて火にかけ、炒める。白菜がしんなりしたら、舞茸を入れて炒める
- ③ 舞茸に火が通ったら、ちくわ、しょう油を入れてさっと炒めて火を止める
- ④ かつお節を入れて混ぜ合わせる





11月30日は『人生会議の日』です ～自分の人生を自分らしく生きるために～

みんなで知ろう『人生会議』

命の危険が迫った状態になると、約 70%の方が医療やケア等を自分で決めたり、人に望みを伝えたりすることができなくなることをご存じですか？

人は生活をする上で「誰でも」「いつでも」命に関わる重大な病気やケガをする可能性があります。その時に、あらかじめ自分の望みを家族等に伝えておくと、自分の思いを大切な人につなぐことができるだけでなく、残された家族等の判断を助けることにつながります。これを「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」、通称「人生会議」と呼びます。

みんなでしよう『人生会議』

人生会議は以下の手順で進めていきます。

①自分が大切にしたいことを考えます。

例）いつまでも食事を楽しみたい、命を伸ばすだけの治療は受けたくない等

②その思いを自分の代わりに伝えてくれる人（家族や友人等）を選びます。

③病気がある方はかかりつけの病院で自分の健康状態を相談しておきましょう。

④これらを踏まえて、もしもの時、自分がどうしたいのか、どうしてほしいのかを信頼できる家族や友人と話し合います。

⑤話し合ったことは書き留めておき、家族や医療関係者等と共有しておきましょう。

★人生会議を行う上で大切なポイントは、1回で終わらないことです。病気やその時々で状態が気持ちや思いは変化することがあります。いつでも何度でも繰り返し行いましょう。

◎吉賀町では、人生会議を行う上で使用できる「おもいをつなげるシート」があります。

吉賀町地域包括支援センター等で配布していますので、ぜひお問い合わせください。

可燃ごみ収集日	◆週2回（柿木地域）地区⇒月・金		◆週2回（蔵木・六日市）地区⇒月・木	
	◆週2回（朝倉・七日市）地区⇒火・金		◆月1回地区⇒第4週の月	
ごみの種類	◆週1回（蓼野・朝倉【奥仲・野田・樋ノ口】）⇒火		◆週1回（星坂）⇒木	
	資：資源ごみ	力：カン類	容：容器プラスチック	商：商品プラスチック
	有：有害ごみ	ビ：ビン	陶：陶器類	粗：粗大ごみ

水	木	金	土
よしか病院祭り ～カラフル健康フェスタ～ 11／22（よしか病院）			1 <div>柿木地域⇒ビ・容</div>
5 はとのゆ休館日 <div>朝倉・七日市⇒粗・容</div>	6	7 からだ爽快教室 はじめの一步	8
12 はとのゆ休館日 ゆらら休館日	13 松ヶ丘病院通院バス運行日 手話通訳者設置日	14 行政相談所等開設日	15 <div>柿木地域 ⇒力・有・粗・商・容</div>
19 はとのゆ休館日 きらきら広場	20 障がい者就労相談	21 骨折・転倒予防教室 特設人権相談所	22 よしか病院祭り
26 はとのゆ休館日 大腸がん検診検体回収日	27 松ヶ丘病院通院バス運行日 大腸がん検診検体回収日 手話通訳者設置日	28 脳活倶楽部	29

サクラマスフェス2026



2/7

(土)

今年のサクラマスフェスは、吉賀町内の知っているようで知らない人づくり・つながりづくりの取組が大集合！どなたでもお気軽にお越しください♪ 詳細はチラシや広報でお知らせします。

主催：吉賀町教育委員会、サクラマスプロジェクト推進協議会

会場：町民六日市体育館・六日市基幹集落センター

11月 町民カレンダー

	日	月	火
	きん祭みん祭農業文化祭 六日市会場（11／2） 柿木会場（11／16）		
納期限のお知らせ 〈納付書払いの方〉 11月28日（金） 〈口座振替の方〉 11月28日（金） 〈11月納付対象科目〉 固定資産税（3期） 水道料金 （9・10月分） 吉賀町役場 電 話 77-1111 FAX 77-1891 吉賀町役場柿木庁舎 電 話 79-2211 FAX 79-2344 吉賀町教育委員会 電 話 77-1285 FAX 77-0040 火事救急は119番 事件事故は110番	2 きん祭みん祭農業文化祭 （六日市会場） 朝倉・七日市⇒資 柿木地域⇒ビ・容	3 文化の日 蔵木・六日市⇒ビ・有・商 河津・金山谷 ⇒粗・容・ビ 有・力・商	4 ストレッチ教室 松ヶ丘病院通院バス運行日 蔵木・六日市⇒粗・容 11 ストレッチ教室 妊婦・乳幼児健康相談 朝倉・七日市⇒ビ・有・商
	9 蔵木・六日市⇒ビ・有・商	10 蔵木・六日市⇒力・容 朝倉・七日市⇒力・容	18 秋分の日 ストレッチ教室 ひきこもり相談 朝倉・七日市⇒力・容
	16 きん祭みん祭農業文化祭 （柿木会場） 柿木地域⇒力・有・粗・商・容	17 松ヶ丘病院通院バス運行日 蔵木・六日市⇒力・容 河津・金山谷⇒粗・容・ビ 有・力・商	25 妊婦・乳幼児健康相談 幼児健診
	23 勤労感謝の日 30	24 振替休日	

住民基本台帳の閲覧状況の公表 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

住民基本台帳の閲覧状況について、関係法令の規定により次のとおり公表します。

○国または地方公共団体（住民基本台帳法第11条第3項に基づく公表分）

国または地方公共団体の機関の名称	請求事由の概要	閲覧の年月日	閲覧に係る住民の範囲
日本リサーチセンター	内閣府孤独・孤立対策推進室より委託された、孤独・孤立に係る実態の把握のため	令和6年10月8日	下須・大野原・木部谷地区 平成20年12月1日以前 生まれの方
吉賀町総務課	分遣所および消防団による防火啓発活動実施のため	令和6年10月16日	六日市地区65歳以上の単 独世帯の方
吉賀町保健福祉課	第4期地域福祉計画策定に係るアンケート調査を実施するため	令和6年11月5日 令和6年12月3日	町全域20歳以上の男女 2000人
自衛隊 島根地方協力本部	自衛官等の募集に伴う案内送付のため	令和7年1月14日	平成19年4月2日～平成 20年4月1日生の方
一般社団法人 中央調査社	日本宝くじ協会から委託を受けた、宝くじに関する世論調査のため	令和7年1月28日	六日市地区18歳以上の方
吉賀町総務課	分遣所および消防団による防火啓発活動実施のため	令和7年2月21日	柿木地区65以上の単独世 帯の方

令和6年度 病院事業会計決算報告

○事業の概況

令和6年3月から法適用により事業を開始しています。病院運営は、指定管理者制度により実施しており、令和6年度は開設後初めて1年間の運営を行いました。

入院の1日平均患者数は36.5人（前年度27.2人）、外来の1日平均患者数は76.7人（前年度77.9人）となりました。

○企業債（病院事業の借金）

借入高	—
-----	---

○損益計算書 令和6年4月1日～令和7年3月31日

費用		収益	
医業費用	8億3,809万円	医業収益	5億9,417万円
医業外費用	0万円	医業外収益	2億6,705万円
特別損失	302万円	特別利益	102万円
合計	8億4,111万円	合計	8億6,224万円
		当年度純利益	2,114万円

○貸借対照表 令和7年3月31日時点

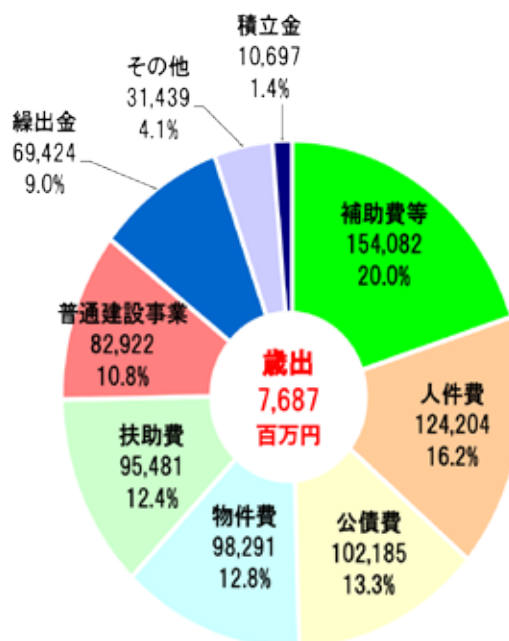
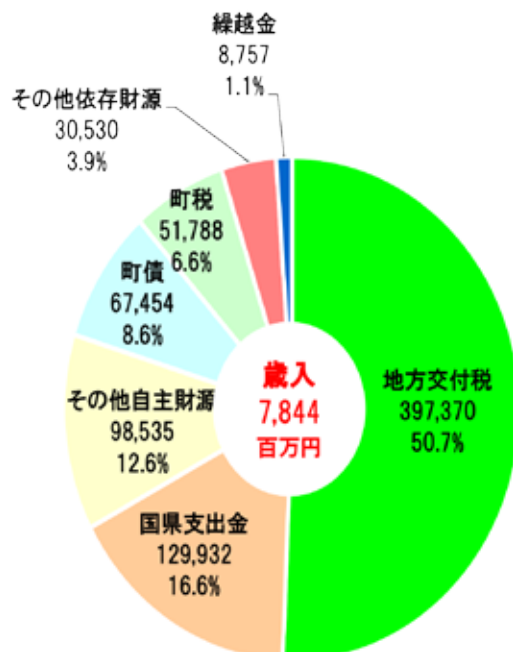
資産		負債	
固定資産	3億3,865万円	固定負債	0万円
流動資産	1億2,415万円	流動負債	224万円
		繰延収益	3億3,865万円
		資本	
		資本金	1億 0万円
		剰余金	2,190万円
合計	4億6,279万円	合計	4億6,279万円

令和6年度 一般会計決算報告

令和6年度一般会計の決算をお知らせします。

一般会計決算の歳入・歳出

(単位:万円)



※その他依存財源…地方譲与税、地方消費税交付金等
 ※その他自主財源…繰入金(基金取り崩し)、分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入等

※その他…維持補修費、災害復旧費、貸付金等

歳入の概要

令和6年度の歳入総額は、78億4,366万円で、前年度と比較して2億1,495万円(2.7%)の減少となりました。

主な増減要因

- 分担金・負担金の増加
2億508万円(505.4%)
- その他自主財源のうち繰入金(基金取り崩し等)の増加
1億8,703万円(56.5%)
- 地方交付税の増加
1億5,054万円(3.9%)
- 地方債発行額の減少
3億846万円(31.4%)
- 国県支出金の減少
2億7,261万円(17.3%)

歳出の概要

令和6年度の歳出総額は、76億8,725万円で、前年度と比較して2億8,379万円(3.6%)の減少となりました。

主な増減要因

- 繰出金の増加
2億2,821万円(49.0%)
- 公債費の増加
1億2,590万円(14.1%)
- 補助費等の減少
2億9,417万円(16.0%)
- 災害復旧事業費の減少
1億7,928万円(77.0%)
- 普通建設事業費の減少
1億4,420万円(14.8%)

収支状況

歳入決算額	歳出決算額	差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支	単年度収支	実質単年度収支
78億4,366万円	76億8,725万円	1億5,641万円	7,584万円	8,057万円	3,600万円	▲1億4,349万円

令和6年度 特別会計決算報告

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差 引 額
興 学 資 金 基 金	1,655万円	1,655万円	0万円
国 民 健 康 保 険 事 業	6億6,929万円	6億6,821万円	108万円
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 事 業	2億6,599万円	2億6,348万円	251万円
介 護 保 険 事 業	11億9,870万円	11億3,893万円	5,977万円
小 水 力 発 電 事 業	6,233万円	6,055万円	178万円

基金(貯金)の状況

基 金 名		令和6年度末
一般会計	財 政 調 整 基 金	10億9,365万円
	減 債 基 金	4億4,834万円
	ふ る さ と 創 生 基 金	0万円
	ふるさと水と土保全対策基金	111万円
	ま ち づ く り 基 金	6億6,054万円
	地 域 福 祉 基 金	6,255万円
	人 材 育 成 基 金	5,050万円
	ふ る さ と 応 援 基 金	2,992万円
	森 林 環 境 譲 与 税 基 金	9,313万円
	計	24億3,974万円
定額運用	土 地 開 発 基 金	7,304万円
	興 学 資 金 基 金	4,736万円
	計	1億2,040万円
特別会計	小 水 力 発 電 事 業 基 金	1億9,393万円
	国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	8,003万円
	介 護 給 付 費 準 備 基 金	1億 653万円
	計	3億8,050万円
合 計		29億4,064万円

町債(借金)の状況

事 業 債 名	令和6年度末
一 般 会 計 事 業 債	84億6,943万円
水 道 事 業 債	9億4,033万円
下 水 道 事 業 債	12億9,247万円
農 業 集 落 排 水 事 業 債	2億 217万円
合 計	109億 440万円

【基金と町債の令和5年度比較】

●一般会計に属する基金(貯金)は、令和5年度と比較して3億6,921万円減少しました。

●一般会計と公営企業債の町債(借金)は、令和5年度と比較して5億5,417万円減少しました。

※表示未満について四捨五入していますので、合計額が一致しない場合があります。

令和6年度 水道事業会計決算報告

○事業の概況

老朽化、耐震化のため管路の更新工事を続けています。大野原地区、柿木地区で工事延長1,147mを実施しました。

水道料金の改定については、料金審議会の答申結果を踏まえ、全員協議会において、約30%値上げする新料金体系と改定時期を提案しました。

○損益計算書 令和6年4月1日～令和7年3月31日

費用		収益	
営業費用	1億9,257万円	営業収益	9,452万円
営業外費用	1,216万円	営業外収益	1億1,919万円
合計	2億4,473万円	合計	2億1,371万円
		当年度純利益	898万円

○貸借対照表 令和7年3月31日時点

資産		負債	
固定資産	21億662万円	固定負債	8億2,826万円
流動資産	3億5,375万円	流動負債	1億1,794万円
		繰延収益	10億5,535万円
		資本	
		資本金	3億7,085万円
		剰余金	8,797万円
合計	24億6,037万円	合計	24億6,037万円

○企業債（水道事業の借金）

借入高	4,780万円
償還（返済）高	1億1,999万円
残高	9億4,033万円

○給水人口と給水量

給水人口	年間総給水量
5,321人	608,505m ³

令和6年度 下水道事業会計決算報告

○事業の概況

令和4年度の法適用移行から3年目の決算になります。

令和6年度には、柿木地区農業集落排水処理施設の高圧受電設備の更新工事をを行いました。六日市浄化センターに設置している紫外線殺菌装置及び汚泥脱水設備の修繕工事をを行いました。また、町内に設置している全ての下水中継ポンプ制御盤の機能強化工事をを行いました。

○企業債（下水道事業の借金）

借入高	480万円
償還（返済）高	1億7,407万円
残高	14億9,464万円

○接続人口と有収水量

接続人口	年間有収水量
2,189人	321,696m ³

○損益計算書 令和6年4月1日～令和7年3月31日

費用		収益	
営業費用	2億359万円	営業収益	4,294万円
営業外費用	2,084万円	営業外収益	1億9,482万円
合計	2億2,443万円	合計	2億3,776万円
		当年度純利益	1,333万円

○貸借対照表 令和7年3月31日時点

資産		負債	
固定資産	38億512万円	固定負債	13億1,997万円
流動資産	9,631万円	流動負債	1億9,972万円
		繰延収益	15億8,777万円
		資本	
		資本金	7億5,462万円
		剰余金	3,935万円
合計	39億143万円	合計	39億143万円

吉賀町立図書館

【DVD上映会 報告とお知らせ】

9月19日（金）～21日（日）の3日間、DVD「九十歳。何がめでたい」を上映しました。今回は午前と午後一日2回上映を連続でしましたので、好きな日時を選んで鑑賞していただきました。次回は11月に予定しています。簡単に作品を紹介するので、どうぞ図書館においでください。

【上映会のお知らせ】

日時：11月28日（金）～30日（日） 10時と13時30分からの2回上映（全日程）

上映：タイトル『コーダ あいのうた』 2021年 / アメリカ映画

【作品紹介】

アカデミー作品賞、助演男優賞など受賞。「コーダ」とは、聴覚障害の親を持つ聴こえる子どものことです。主人公ルビーは、聴こえない家族の「通訳係」でした。彼女には、歌という素晴らしい才能がありましたが、それを生かすのは難しいことでした。家族の聴こえない耳に彼女の歌声は届くのでしょうか。その声がやがて周りを感動の色に染めていく様子をぜひ映画でご覧ください。

【出張図書館のお知らせ】

11月16日きん祭みん祭農業文化祭柿木会場に図書館車みたい号が行きます。持参した図書の貸出や返却も受け付けます。初めての方もどうぞご利用ください。

《図書館利用状況9月》

- 貸出総数 2624冊
- 貸出人数 388人
- 来館者数 457人

【休館日と返却ポスト】

- ・毎月曜日と祝日は休館
- ・11/26 図書整理のため。
- ・11/2 きん祭みん祭農業文化祭（六日市）
- ※地域の公民館に図書返却ポストを置いています。



柿木公民館

11月23日は勤労感謝の日。もとは、「新嘗祭」という農作物の収穫を祝う日でした。現在はすべての生産を祝福し、勤労をねぎらう日となりました。「勤労を尊び、生産を祝い、国民がお互いに感謝しあう」という意味で、新しい憲法のもと1948年に制定された国民の祝日です。助け合って働き、それがあらゆる生産につながっています。働くことの意味や周囲への感謝の気持ちをつねに忘れずにいたいですね。

【今月の本の紹介】

いのちへの礼儀
認知症かな？と思ったらすぐ読む本
ヘルンとセツ
人形のアルファベット
暦のしずく
マスカレード・ライフ
本を読む人だけが手にするもの
なんだっけ・・・？
僕たちは言葉について何も知らない
科学的に証明されたすごい習慣大百科
つまんない つまんない
まねっこ にゃんころもち
薪ストーブのある暮らし

生田 武志
朝田 隆
田淵 久美子
カミラ・グルドーヴァ
沢木 耕太郎
東野 圭吾
藤原 和博
たなか しん
小野 純一
堀田秀吾
ヨシタケ シンスケ
かのう かりん
細川 英雄・細川 たかみ



開館日：火～金曜日及び毎月第2・4の土日
開館時間：9時～16時
休館日：毎月曜日と祝日



《寄稿》

「ひこばえ」伸びる

竹中 和博

例年、いやいや一寸つと前までは、稲刈り後に切り株から出てくる稲の子ども達は15cm位までは成長するのですが・・・実る事はなく、中味は俗に言う「しいら」、「しいな」という状態にしかありませんでした・・・

しかし、近年、この「ひこばえ」に水と肥料を与えて成長させて収穫までしてしまおうという取組みが県内でも広がりをを見せているようです。普通の収穫の6割位の収量が期待出来るそうです。

現在の気候は世界的に見ても、兎に角異常です。過去30年の夏の平均気温より、今年は2.36度上昇したと報じられ、大気は暖まり続けます。「ひこばえ」もこうした気候変動の影響を受けて伸び続けています。11月終り頃もう一度稲刈り有るかも？と友人と話しています。

このまま気温の上昇が続けば、毎年、夏は40度超は当たり前となって二期作も現実のものとなる日も近いのではないかと思われまます。

地球全体でこれ以上の気候変動を抑える知恵を結集して、温暖化を止めなければ、収穫の秋も、秋祭りも、

正月も穏やかに向かえることが出来ないのではと危惧するところです。

《寄稿》

郷里回想録二十九

橋本 雅夫

実家の前の小さな里山を越えるところには山田や山畑があった。古の村は是以上開墾余地は無き程に山裾まで田畑とて耕し、尊び作物の作付けを施こして更なる増収を計り居住人々は自からの食と生活の糧とした。労力は牛馬を中心とし家族一家をして是等の従事に当る。よって、子どもとても夕刻時の風呂わかしや用水汲み、そして、小学五・六年に成ると牛飼いや等にも加勢立派なる農家の一労力者でもありしもの。田畑も荒廢地は無論皆無最も効率的なる土地利用促進遂行の念。此の様に田畑山林を始め原野雑種地までも手入れ後生大事に扱って来た。よって、生産された特に穀類は先ず神佛に供え其の後に感謝の念を持つて是をいただく食すもの。よって、子どもの持分食事後散逸した御飯粒をも拾って食した。又、調理時の散乱も同様種のもの。此れ等寄せて粗相沙汰扱い成るものは「御法度」と云わぬばかりの極く当り前の通常なる生活でもあった。我国極東の地日本国は古来より穀類の特に稲作中心の国として大いに其の幾多の繁栄を鑑みる。

例えば、皇統の神に穀類を奉る「新嘗祭」として其の歴史の一端を物語る。是はかつて本町においても此の新嘗祭に献上米作付けヶ所田として町内九郎原畑詰地内の土地が選定されし経緯もある。此の様に特に御米は幾世時代に渡り最も貴重なるものとして大事に扱われて来たものである。

先史においては貴族や武家等も深々と関わり是等後々江戸幕府すなはち幕藩体制と成ると御米も諸藩の石高量として位置付けの上、軍役として相互間における制度化形成確立をみる。以降幾多の各々の変遷を得て近・現在に至るが過去の歴史の過程一端からしても農林業は祖国の「栄枯盛衰」の根源、基盤を成すものと思わざりし深秋の夜更けなるを・・・皆々様御自愛の程祈念致してやみません。

《寄稿》

銀杏寮シヨウトステイに入り

河野 君江

青空をつばめが飛んでいる。私もついて行きたい。飛べたらどんなにすてきだろう。

山や家を見ていると、稲が大分色づいている。わが家も田を作っていた事を思いなつかしくなる。こちらに来て十日目の事である朝早々に準備している。バインダーで稲刈をし

ている。孫だろうか。手伝いながら三人で刈っている。たちまち済ませてキヤリーで運びイナハゼにかけて干している。中々手間のかかる仕事である。

次の朝はちがう家の田にコンバインで刈っている。早い早い。一度乾燥機まで運んで行きながら又もどって来ては刈って行くのである。でも早い一町を終ったのが三時頃まで済ましてた。今年は色から見て良く出来たのだらう。その後を白サギがおりて穂を食べていた。昔をなつかしく見ていた。

《俳句》

雨を待つ作物あわれ合掌す

豊田 百恵

朝夕に秋の涼気がほほなでる

村上 毅

桜散り燕すいすい虫探す

田村 民子

親子いて至福の時ぞ秋麗

糟谷 圭子

なにごとぞ人の集まる野路の秋

河野 由希

新米も栗も妹らに送りけり

村田 綾美

瀬に淵に呼び名ありけり鮎を追う

三浦 一美

つれづれに俳句を詠むや秋の声

齋藤 直子

晩稲刈農家定年無きと云ふ

山崎 美智子



ちょうみんひろば



石墓により添うてをり狐花

竹中 和博

杖を突く度にに早の土埃

齋藤 ツル子

万葉の里の川音や鮎の飯

青木 道子

フルートは被爆樹木や秋の夕

平岡 雅子

日傘買い暑いのに差し外に出てみる

橋本 雅夫

稲の実り昔なつかしく今は秋

河野 君江

《川柳》

米作る強みの我家腹一杯

村上 毅

矢のやうな飛行機雲や大岡山

長峯 辰雄

熊さんにお知らせしなきゃ銃獵可

谷尻 和好

同級生久しぶりです名が出ない

岩上 武史

せみ時雨聴いて静かに墓参り

石村 菊夫

夏祭り若い姿に明日が見え

水上 健二

気がつけば痛む所へ手が延びる

寺戸 美瑳子

新米で米の価格が下がるかな

大庭 和子

杖よりも温かい言葉に支えられ

田村 民子

彼岸花頭上で笑顔栗坊頭

池下 邦枝

子の寝顔やとと終わった安堵する

折口 沙羅

アンパンマンみたいな政治家おらへんで

澤 三智代

秋終り二番子のびてまた緑

竹中 和博

心のきず見つめられて声かわす

河野 君江

《短歌》

園児らは葉っぱを集めてくらべ合う

可憐な手にも秋の来ており

豊田 百恵

また一人一身失い

猛暑の如し身に沁みる

田村 民子

吉賀川分流水の水路にて

草取り終へし手足を洗ふ

長峯 辰雄

病床の兄の残せし重き声

必死に生きろと我に教えり

竹中 和博

夢うつつ浮世に妙えて眺むれば

心なごます夜半の月かな

橋本 雅夫

出生・すこやかに (9月届出)

中田 瑛仁(あきと) さん

昌吾・菜摘さんの子

六日市

お悔みやすらかに (9月届出)

渡邊 美代子 さん

山上 孝子 さん

河野 アツ子 さん

松浦 真弓 さん

池田 正信 さん

宗本 貞子 さん

吉屋 美智江 さん

高原 久枝 さん

中田 元 さん

山本 イサ子 さん

谷口 壽一 さん

宮本 フクコ さん

同意が得られた方のみ記載しています。

93歳 六日市

84歳 柿木

99歳 田野原

75歳 幸地

99歳 梶谷

57歳 注連川

87歳 立河内

90歳 樋口

87歳 大野原

91歳 六日市

94歳 立戸

93歳 柿木

寄稿・文芸コーナー

応募方法とお知らせ

● 毎月1日までに提出してください。

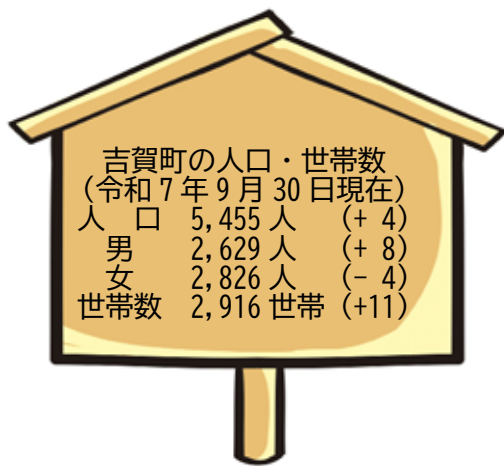
● 寄稿は500字以内とし、超えるものは掲載を見送ります。

● 楷書で略字を使わず、漢字は常用漢字を用いてふりがなを振ってください。

● 応募作品は、基本的に原文のまま記載しますが、原文の意味を損なわない範囲で修正する場合があります。

● 作品の内容によっては掲載しない場合があります。

● 応募多数の場合等は掲載しない場合があります。





きん祭みん祭農業文化祭



六日市会場は、六日市中学校との共催、会場のあちこちで六中生が頑張る姿が見られます！

柿木会場は、演奏をしてくれる出店者が登場、会場の雰囲気は異国のムードになるかも！

■六日市会場 11/2（日）

■柿木会場 11/16（日）

■9時～15時

■お問合せ

Tel：0856-77-1437

きん祭みん祭農業文化祭実行委員会事務局（企画課内）

柳亭左龍落語会



温泉でまったり＆楽しい
落語で元気に笑おう♪

■11/14（金）

■かきのき温泉はとのゆ
2階大広間

■開場 18：00

開演 18：30

■入場料 1,000円

■お問い合わせ

Tel：0856-79-2709

（合同会社かきのきむら）

第3回源流高津川ブリランテフェスティバル



みんなで体を動かそう！
初心者でも大丈夫、親子
参加也大歓迎！美味しい
ごはんやフリーマーケット
もあって運動苦手さん
も楽しく遊べるよ♪

■11/23（日）

■9時受付開始～16時

■よしかみらい

吉賀町真田 1121-2

■お問い合わせ

Tel：090-2294-4395

（岩本）

秋の川辺でデイキャンプ



■11/23（日）10：30～14：00

■高尻川リバーサイドログハウス村

■申し込み方法 メール：takatsugawa.lovers@gmail.com

氏名、生年月日、住所、Telを入力して送信

Tel：080-6334-3484（齋藤）

■主催：タカラバ（#高津川を愛してる会）

やくろ青空市の会 秋の収穫祭



やくろ青空市の会の生産者さんが、日頃の感謝を込めておもてなし！秋の一日をのんびりお楽しみください♪

■11/23（日）10時～15時

■道の駅むいかいち温泉ゆ・ら・ら 彫刻の道広場

■お問い合わせ 産直・物産館やくろ Tel：0856-77-3040

掲載の情報は予告なく変更になる場合があります。お問い合わせ：吉賀町観光協会 〒699-5506 島根県鹿足郡吉賀町有飯238-2 ☎080-2922-1506 定休日：火・水

